

主な現状と課題

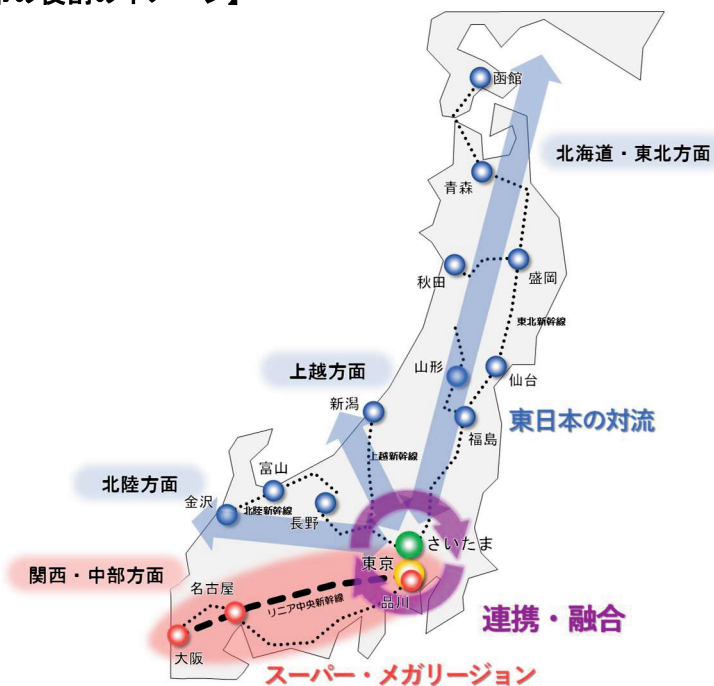
本市は、国の首都圏広域地方計画において、東日本の玄関口として、東日本各地とスーパー・メガリージョン※の両地域の対流を促進し、その効果を東日本各地に波及させる役割と、首都直下地震の発災時に首都圏の機能をバックアップするための最前線としての役割が位置づけられており、計画実現に向けた取組を進めていくことが求められています。

本市において、スーパー・メガリージョンの成長を引き込み、自らも成長して、東日本の対流拠点としての役割を果たしていくためには、中長期的な視点に立って、将来の成長基盤となるような取組を戦略的に展開し、拠点機能の充実・強化を図る必要があります。

また、新型コロナウイルス感染症は、社会や人々の生活様式に大きな影響を及ぼしています。今後の都市づくりに当たっては、ウィズコロナ、アフターコロナ時代の新しい生活様式への対応など、感染症の拡大による危機を契機として生じた変化に対応していく必要があります。

さらに、本市が将来都市構造として掲げる「水と緑に囲まれたコンパクト+ネットワーク型の都市構造」の形成、そして「住み続けたくなるまち」、「訪れたくなるまち」の実現を目指し、これまで積み上げてきた既存ストックや本市の多彩な地域資源を活用しながら、かつ、安全・安心の確保、SDGsの達成、スマートシティの構築など様々な視点から、各取組を総合的かつ着実に推進していく必要があります。

【広域的に見たさいたま市の役割のイメージ】



首都圏広域地方計画 プロジェクト参考資料（平成 28（2016）年 3 月、国土交通省）などをもとに本市で作成

※スーパー・メガリージョン：東京圏、名古屋圏、関西圏の 3 大都市圏がそれぞれの特色を発揮しつつ一体化し、世界からヒト、モノ、カネ、情報を引き付け、世界を先導する巨大経済圏

(1) 都心における都市機能の充実・強化

本市の2つの都心として位置づけられている大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区、浦和駅周辺地区は、本市の顔として、高次な都市機能の充実・強化が求められています。

これらの都心では、広域的な都市活動や市民生活の拠点として、ヒト・モノ・情報等の集結・交流機能の更なる向上に向け、鉄道駅及び駅周辺におけるポテンシャルをより一層生かしていく必要があります。

そのため、「大宮駅グランドセントラルステーション化構想」及び「大宮GCSプラン2020」に基づく大宮駅周辺街区のまちづくりや交通基盤整備、駅機能の高度化、公共施設再編による連鎖型まちづくりを進めるとともに、2つの都心における市街地開発事業等を着実に推進することにより、防災性の向上と合わせ、交通機能、商業・業務機能、交流機能、回遊機能、街なか居住機能など多様な都市機能の充実や、にぎわいの更なる創出を図っていくことが重要です。



大宮GCSプラン2020に掲げるまちの将来像

(2) 魅力あるまちづくりの推進

岩槻地区や与野本町駅周辺地区等の古くから市街地が形成されてきた地域では、地域の活気・魅力の低下が懸念されています。また、美園地区等の都市基盤整備を行いながら拠点づくりを進めている地域では、早期の定住人口・交流人口の増加と土地活用の促進が課題となっています。

これらの課題に対応し、今後も良好で魅力あるまちづくりを推進していくためには、今あるストックや各地域の多彩な地域資源を効果的に活用し、地域の持つ様々な魅力や個性をより一層引き出していく必要があります。

このような地域の特徴を生かしたまちづくりを推進していくため、市民、企業、大学、行政等の多様な主体が、それぞれの役割分担のもと連携・協働し、市街地の整備・改善、及び施設ストックの活用により、地域の価値を向上させていくことが重要です。

(3) 災害に強く、良好な住環境の整備

近年では、毎年のように全国各地で自然災害が頻発し、甚大な被害が発生しています。本市で想定される災害リスクのうち、地震災害における災害リスクの評価において、火災の発生による延焼リスクと建築物の倒壊等による避難困難リスクが重なり、優先的、重点的に対応することが必要な地区の存在が確認されています。そのため、リスクを継続的に把握し、市民や事業者へ情報発信していくとともに、災害リスクが高い地区においては地域住民の主体的な活動を促しつつ、地区特性に合わせた施策を展開していくことが重要です。

また、安全で機能的な住環境の形成のためには、災害に強く、有効な土地利用を支える都市基盤整備を進めていく必要があることから、土地区画整理事業等を効果的・効率的に推進していくことが重要です。

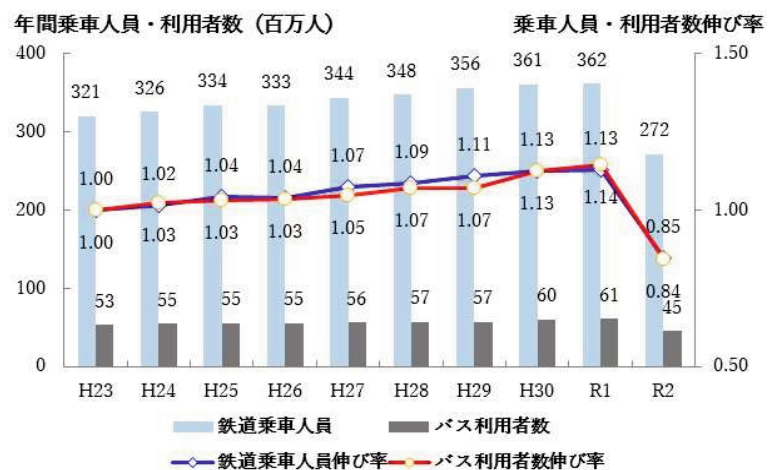
(4) 移動環境の向上

本市の鉄道・バスといった公共交通の利用者数はこれまで増加傾向にありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による生活様式の変化により、利用者が減少しており、地域の交通サービスの維持が困難になることが懸念されます。

このような中、市民や来訪者にとって使いやすい交通環境を形成していくためには、公共交通ネットワークの充実、次世代移動サービスの実装に向けた研究・実証実験の取組、身近な交通手段である自転車の利用環境の向上など、多様な交通手段の確保が必要です。

また、まちづくりと連携した駅周辺の交通結節機能の強化や、過密を回避し、安心して利用できる環境づくりを総合的に展開していくことが重要です。

【市内の鉄道・バスの年間利用者数の推移】



(5) 「みどり」のオープンスペースの確保

本市は、見沼田圃や荒川をはじめとした水とみどりが市街地を挟むように位置しており、これら首都圏有数の自然資源は本市の原風景をつくり出すとともに、心の安らぎを与えています。しかしながら、経済活動の拡大や都市化の進展等に伴い、貴重な自然資源の減少が懸念されています。

見沼田圃やその周辺においては、地域資源を活用しながら、情報発信や散策拠点となる広場の整備に取り組むとともに、交流の場の創出や、市民が自然に親しみやすく広域的な防災機能も有する都市公園の整備などを進め、魅力ある空間を創出していくことが重要です。

また、市街地において、身近な「みどり」は良好な住環境形成に欠かせないものであり、特に、大災害のリスクや新しい生活様式への対応といった観点から、「みどり」のオープンスペースの確保は重要な課題となっています。

そのため、貴重な樹林地・農地の保全・活用の取組、身近な公園の整備等が求められます。また、公園については遊具の更新等による安全・安心の確保、さらに公民連携手法といった民間活力による新たな整備・管理手法も活用した公園整備・維持管理・機能更新を進めていくことが必要です。

基本方針・区分別主要事業

東日本の対流拠点として多様な都市機能の充実・強化を図るため、都心における基盤整備や駅周辺のまちづくりを推進していくとともに、魅力ある住環境の創造・形成のため、市街地の整備・改善及び既存ストックの活用を推進していきます。また、安全・安心の都市づくりのため、地区特性に応じた取組や市街地開発事業を推進するとともに、移動しやすい交通環境の形成のため、交通結節機能の強化や多様な交通手段を確保する施策を展開していく一方、みどりのオープンスペースの確保のため、樹林地・農地の保全・活用や公園整備等を推進し、魅力ある空間を創出していきます。

(1) 東日本の対流拠点都市にふさわしい都市機能の充実・強化を図るまちづくりを推進します。

(単位：千円)

No	事業名	令和3年度	説明	No	事業名	令和3年度	説明
1	さいたま新都心にぎわい創出事業 〔都心整備課〕	147,890	地域価値を高め持続可能なまちづくりを実現するため、地元主体のエリアマネジメントの活動を支援するとともに、さいたま新都心将来ビジョンの実現に向けた取り組みを実施	6	大宮駅東口大門町2丁目中地区第一種市街地再開発事業 〔大宮駅東口まちづくり事務所〕	1,285,371	都心としての拠点性の向上を図るとともに、交通機能の強化、歩行者ネットワークの形成等を図るため、市街地再開発事業等を推進
2	大宮駅グランドセントラルステーション化構想の推進 〔東日本交流拠点整備課〕	134,913	大宮駅周辺地域戦略ビジョンのターミナル街区におけるまちづくりの具体化を図るため、大宮駅グランドセントラルステーション化構想及び大宮GCSプラン2020に基づき、大宮駅周辺街区のまちづくり、交通基盤整備及び駅機能の高度化の事業化に向けた検討を実施	7	大宮駅東口公共施設再編推進事業 〔大宮駅東口まちづくり事務所〕	41,452	「大宮駅東口周辺公共施設再編／公共施設跡地活用全体方針」に基づき、官民連携事業の導入に向けた調査・検討を実施
3	桜木駐車場用地活用の推進 〔東日本交流拠点整備課〕	12,635	公有財産を有効活用し、交流促進や新たな価値の創出に寄与する機能の導入を進め、大宮ひいてはさいたま市のプレゼンス向上に貢献するため、桜木駐車場用地の活用に向け事業者を選定する公募を実施	8	大宮駅西口まちづくり推進事業 〔大宮駅西口まちづくり事務所〕	1,354,986	大宮駅西口の未整備地区について、狭い道路の解消や居住環境の向上等の課題を解決するため、市街地再開発事業等を推進
4	氷川参道環境整備 〔氷川参道対策室〕	15,712	氷川参道の歩行環境改善に向け、交通実態調査や維持管理等を実施	9	大宮駅西口第四土地区画整理事業 〔大宮駅西口まちづくり事務所〕	842,000	業務・商業機能の集積及び都心地区にふさわしい市街地形成を図るため、建物移転や区画道路整備等の面的基盤整備を行い、土地利用の転換を促進
5	市街地再開発推進事業 〔浦和駅周辺まちづくり事務所〕	4,011,020	浦和駅西口南高砂地区市街地再開発事業を推進するとともに、浦和西口停車場線等の整備を実施				

(2) 風格や賑わいを創出させる魅力あるまちづくりを推進します。

(単位：千円)

No	事業名	令和3年度	説明	No	事業名	令和3年度	説明
10	美園地区のまちづくりの推進 〔浦和東部まちづくり事務所〕	33,606	副都心にふさわしい都市空間・都市環境の形成を図るため、大門上池調節池広場の管理運営を行うほか、新たにA Iオンデマンド交通サービスの実証実験を実施	12	与野本町駅周辺地区まちづくり事業 〔与野まちづくり事務所〕	4,972	「歴史を伝える本町通りのまちづくり」を推進するため、本町通りにおいて、沿道組織の設立に向けた勉強会、準備会を実施。また地域が主体となる協議会の運営支援を実施
11	中央区役所周辺の公共施設再編事業 〔まちづくり総務課〕	7,912	中央区役所周辺の公共施設再編方針を策定するとともに、施設整備に向けた基本的な考え方などの検討を実施	13	まちづくり推進事業 〔岩槻まちづくり事務所〕	6,174	岩槻駅周辺地区におけるまちづくりの方向性を示す「岩槻まちづくりマスタープラン」等に基づき、歴史的・文化的資源を生かしたまちづくりを推進

(3) 災害に強い都市環境整備を効率的・効果的に推進します。

(単位：千円)

No	事業名	令和3年度	説明	No	事業名	令和3年度	説明
14	災害に備えるまちづくりの推進〔都市総務課〕	17,939	防災を明確に意識した都市づくりを推進するための支援や地籍調査等を推進	20	武蔵浦和駅周辺地区まちづくり推進事業 〔浦和西部まちづくり事務所〕	1,903	武蔵浦和駅周辺地区のまちづくりを推進するため、第7-1街区のまちづくり方針の決定に向け、勉強会を実施
15	組合施行等土地地区画整理事業 〔区画整理支援課〕	9,117,190	健全な市街地を形成するため、組合が行う土地地区画整理事業に対して補助金を交付	21	与野駅西口土地地区画整理事業 〔与野まちづくり事務所〕	617,174	良好な市街地を形成するため、建物移転や道路などの基盤整備を推進
16	指扇中央通線及び文化センター通り整備事業 〔日進・指扇周辺まちづくり事務所〕	202,894	指扇中央通線及び文化センター通りの整備に向けた用地取得や建物調査を実施	22	南与野駅西口土地地区画整理事業 〔与野まちづくり事務所〕	413,000	良好な市街地を形成するため、建物移転や道路などの基盤整備を推進
17	浦和東部第一特定土地地区画整理事業 〔浦和東部まちづくり事務所〕	858,000	副都心にふさわしい魅力ある市街地を形成するため、道路築造工事等を実施	23	岩槻駅西口土地地区画整理事業 〔岩槻まちづくり事務所〕	487,099	岩槻駅西口の商業活性化と潤いのある住環境を形成するため、建物移転や道路などの基盤整備を推進
18	大門下野田特定土地地区画整理事業 〔浦和東部まちづくり事務所〕	170,000	副都心にふさわしい魅力ある市街地を形成するため、整地工事等を実施	24	江川土地地区画整理事業〔岩槻まちづくり事務所〕	159,000	良好な市街地を形成するため、調整池排水機場の築造工事などを実施
19	東浦和第二土地地区画整理事業 〔東浦和まちづくり事務所〕	1,342,000	良好な市街地を形成するため、上下水道や道路などの基盤整備を推進				

(4) 誰もが使いやすく移動しやすい交通環境を形成するまちづくりを推進します。

(単位：千円)

No	事業名	令和3年度	説明	No	事業名	令和3年度	説明
25	スマートシティに向けたモビリティサービスの充実 〔都市総務課〕	12,100	大宮駅・さいたま新都心周辺地区等において、シェア型マルチモビリティの実証実験を実施するなど、ICTをまちづくりに取り入れるスマートシティの取組を推進	29	長距離バスターミナルの維持管理 〔交通政策課〕	67,859	さいたま新都心バスターミナルの維持管理を実施
26	コミュニティバス等の導入及び改善支援 〔交通政策課〕	18,216	コミュニティバス等の導入及び改善検討の支援を行うとともに、AIデマンド交通の導入に向けた検討を実施	30	さいたまはーと推進事業 〔自転車まちづくり推進課〕	70,353	シェアサイクル普及事業実証実験の検証、パパ・ママ自転車安全推進サポーター事業等を実施
27	都市計画道路見直し事業 〔都市計画課〕	17,425	「さいたま市道路網計画」の改定に向けた検討を行うとともに、都市計画道路の見直し候補となった路線について、関係権利者の合意形成を図り、都市計画変更の手続きを推進	31	七里駅舎改修事業 〔区画整理支援課〕	760,533	七里駅の橋上駅舎化及び南北自由通路の整備を進め、地域の利便性や安全性を向上
28	地域公共交通施策検討調査 〔交通政策課〕	7,688	地域公共交通協議会において、地域公共交通計画を策定するとともに、東西交通大宮ルートにおける課題等について検討				

(5) さいたま市らしい豊かな自然環境の保全・活用と身近な緑の空間の創出を推進します。

(単位：千円)

No	事業名	令和3年度	説明	No	事業名	令和3年度	説明
32	身近な公園整備事業 〔都市公園課〕	1,318,458	都市公園の適正な配置・整備に向けて、公園が不足する地域を重点に、歩いて行ける身近な公園を整備	35	指定緑地等設置・保全事業 〔みどり推進課〕	393,159	オープン型・クローズ型緑地の保全事業、緑地保全ボランティア活動の推進により、良好な自然環境を有する緑地の保全を推進
33	公園遊具安全性向上事業 〔都市公園課〕	228,294	子どもにとって安全で楽しい遊び場を確保するため、公園遊具について安全性の向上を図る修繕や更新等の対策を実施	36	見沼田圃基本計画の推進と新たな活用 〔見沼田圃政策推進室〕	63,087	見沼田圃の保全・活用・創造を図るため、見沼田圃基本計画アクションプランに基づき、見沼散策の拠点となる(仮称)三崎広場を整備するとともに、ホームページ等による情報発信力を強化
34	さいたまセントラルパーク整備事業 〔都市公園課〕	1,200	見沼田圃の自然・歴史・文化を次代に引き継ぐとともに、市民の避難場所となり、かつ広域防災拠点を補完する防災機能を有する都市公園を整備するため、都市計画事業認可を取得				